

日本製トラベルバッグブランド『PROTECA[®]』(プロテカ)

シリーズ累計6万本^(※1)突破の

人気機内持込シリーズ「マックスパスH」に限定色が登場!

2017年1月中旬より発売開始

バッグ&ラゲージメーカーのエース株式会社(代表取締役社長:森下宏明、本社:東京都渋谷区、以下エース)は、日本製トラベルバッグブランド「プロテカ」の、機内持込サイズで最大容量を実現した「マックスパス」シリーズより限定色<グリーン>を2017年1月中旬より直営店と全国の百貨店・専門店を中心に発売することを発表します。

◆いま機内持込サイズのスーツケースが売れている理由とは

大手旅行会社によると、2016年の4月以降、燃油サーチャージは無料になり、為替レートは昨年よりは円高傾向に転じてきたことから、海外旅行へは行きやすい環境になっています。しかし一方で、海外情勢の不安定さや景気の先行きが不透明なことから支出の慎重傾向もあいまり、2016年は国内旅行の活況や台湾や近場のアジアをはじめとする近距離の海外旅行が人気でした。この傾向は2017年も続くとの見通しがでており、機内持込サイズの小型スーツケース需要は更に高まると考えられます。

エースのプロテカ「マックスパスH」シリーズは機内持込適応サイズで40リットルの最大容量を実現し、2011年の販売開始よりシリーズ累計で6万本を突破する人気のシリーズです。機内持込適応サイズの小型スーツケースは、ビジネス用途での使用目的をはじめ、国内や近場の海外をはじめとする短期旅行での使用汎用性が高いことから市場では高い人気を集めています。この度、そんな人気の「マックスパスH」シリーズより限定色として<グリーン>を2017年1月中旬より発売します。

【製品写真】



(限定色 グリーン)

【主な特長】

①機内持込サイズで最大容量 40ℓを実現

スムーズな移動が求められる出張や、国内・海外問わず短期の旅行で使いやすい大容量モデル



②荷物の出し入れに便利なフロントオープンポケット



空港での検査や移動中の荷物の出し入れに便利!

【製品概要】

ブランド名	商品名	限定色	価格(税別)	発売日
プロテカ	マックスパスH2	グリーン	54,000円	2017年1月中旬

《本件に関するお問合せ》

エース株式会社 マーケティング部 広報・PR担当 山田絢音

TEL:03-5843-0607 [読者問合せ: エース 03-5843-0606] FAX:03-5843-0608

MAIL:a-yamada@ace.jp

(※1)2011年4月~2016年12月の「マックスパスH」シリーズ累計出荷本数

【主な製品の詳細】

①機内持込サイズで最大容量 40ℓを実現

機内持込可能サイズをクリアしながらも、40ℓという最大級の容量を実現。
スムーズな移動が求められる出張や、国内・海外問わず短期の旅行で使いやすい大容量モデルです。
ラゲージを預ける時間と手間が省け、スムーズな移動を実現します。

②荷物の出し入れに便利なフロントオープンポケット

メイン収納とは別に PC や書類、チケットなどを安全かつすっきりと整理、収納できるフロントオープンポケットを装備。移動中の荷物の出し入れに便利です。



【その他の特長】

①セキュリティも安心なデュアルホールド TSA ロックを採用

1つのカギで2つの収納スペースをロックできる、デュアルホールド方式の TSA ロックを採用。機内へ預ける際のセキュリティも万全です。



②サイレントキャスターを搭載

体感音量を大幅に軽減した独自開発の「サイレントキャスター®」を採用。
走行音の気になる静かな場面でその実力を発揮します。

③安心の日本製 & アフターケアも万全な保証

素材から国内で製造する世界で唯一の日本製スーツケース「プロテカ」は、厳しいテストに裏付けされた安心と信頼のメイドインジャパン製品です。未永くご愛用頂けるよう、3年間の製品保証を備えています。航空会社の破損も保証の対象内とするのは、ラゲージ業界初の保証内容です。



【製品仕様】

ブランド名	プロテカ
商品名	マックスパスH2
価格(税別)	54,000円
限定色	グリーン
外寸サイズ(cm) 高さ×幅×奥行き	51×39×25cm
素材	ポリカーボネートハイブリッド樹脂
本体重量(kg)	3.2kg
本体容量(ℓ)	40ℓ
生産地	日本・北海道
発売日	2017年1月中旬

MAX-PASS H2 マックスパス H2

《定番カラー》 02. ガンメタリック ■ 03. ネイビー ■ 05. ショコラブラウン ■
09. ワイン ■ 11. シルバー ■ (発売中)

《本件に関するお問合せ》

エース株式会社 マーケティング部 広報・PR担当 山田絢音

TEL:03-5843-0607 [読者問合せ: エース 03-5843-0606] FAX:03-5843-0608

MAIL:a-yamada@ace.jp

◆◆What's Proteca?

2005年にデビューした、エースの代表的なトラベルバッグブランド。

「Protect(守る)」「Technology(技術)」「ACE(エースの理念)」の造語。

プロテカのハードスーツケースの殆どが北海道・赤平工場の徹底した品質管理の下で製造され、「究極の国産ラゲージ」として市場で販売されています。

ブランド10周年の2014年、デザインオフィス「nendo」代表の佐藤オオキ氏をプロテカのクリエイティブディレクターに迎え、翌2015年にブランドを刷新しました。



業界初！！スーツケースの3年間無償保証サービス『プロテカ プレミアムケア』

エースは、カスタマーサービスのクオリティアップによる他社との差別化を図るべく、購入頂いたプロテカブランドのスーツケースを3年間無償で修理いたします（2015年1月より新商品として発売された商品が対象となります）。今まで航空会社の責任であった「機内や空港での破損、またはその他の運送中に生じた損傷を含む破損」についても無償修理の対象としました。3年の期間内であれば何度でもこの保証サービスを受けることができます。今回の保証における最大のポイントは、**今までバッグ業界では成しえなかった「航空会社の責任範囲である機内や空港での破損、またはその他の運送中に生じた損傷を含む破損」についても保証対象にした点**にあります。エースは日本製ならではの高品質性を「保証」という面から提供することで、お客様に何度でも快適に安心して旅を楽しんで頂きたいと考えております。



*ただし、送料は片道（送り）のみお客様負担となります。

◆◆JAPAN QUALITY

これまでの日本製は、技術と品質に対する“絶対的な信頼感”が高く評価されてきました。

そして、これからの日本製に求められるものは、“世界が注目する独自の美意識や創造力”です。

プロテカが目指すものは、次の時代を担う新たな価値観「新・日本製」。

その新・日本製のスーツケースを製造するのが、国内唯一のスーツケース工場である、エースラゲージ赤平工場です。

国内生産半世紀以上の歴史を誇る
日本製スーツケース工場



エースラゲージ株式会社 赤平工場

最新のテクノロジーと、職人技の見事な融合により、年間およそ15万本のハードケース、6万本のソフトケースを生産する日本で最大且つ唯一のラゲージ工場。最新システムとロボットの導入の他、リサイクルできる素材の採用、排水管理システムの導入など、環境保全活動の拠点としての役割も担っています。

1971年5月、北海道赤平市茂尻に完成。現在、建物面積34,569㎡敷地面積110,330㎡を所有。2011年に創業40周年、2014年にはスーツケースの国内生産50周年を迎えました。

妥協することなく、ラゲージの本質を追求する。

エースでは、品質の徹底的な管理と技術の向上を図るために、北海道・赤平工場にA.T.I.(ACE Technology Institute[エース品質管理研究所]の略)を設立。常にお客様に信頼される最高レベルの製品づくりを目指し、多岐にわたる品質テストを実施しています。

また、A.T.I.では品質管理テストの実施のみならず、次代の新素材や機能、パーツなどの研究を日夜続けており、高品質なプロテカ製品のベースを支えています。



転落テスト

重りを入れたケースを、内側に突起のある1辺1.5mの巨大な六角ドラムに入れて転がす。ぶつかったり倒れたりした際の耐久性をテストします。



落下衝撃テスト

重りを入れたケースを120cmの高さから5回落下させ、キャスターの強度をテストします。



ハンドル強度テスト

5000回もの上下運動で、重りを入れたケースのハンドルとロックの耐久性をテストします。



キャスター走行テスト

重りを入れたケースを屋外で16km走行させ、キャスターの耐久性をテストします。時期によっては室内で行うこともあります。



ボディ表面摩耗テスト

ボディ素材に摩耗テスト用の砥石を1000gの荷重で押し当て、ボディ素材を250回回転させ、表面の摩耗状態と摩耗量を検査・測定し、摩耗耐久性をテストします。

その他、「開閉テスト」(7500回の開閉を繰り返す、ロックやヒンジの耐久性をテスト)や「耐湿テスト」(気温約40度、湿度85%の状況下に500時間置くことによる品質テスト)、「温度サイクルテスト」(気温40℃、湿度85%のなかに24時間放置したあと、-20℃のなかに24時間放置。これを3回繰り返す耐熱性をテスト)など主に8項目の厳しいテストを実施しています。

佐藤オオキ

1977年カナダ生まれ。00年早稲田大学工学部建築学科首席卒業。
02年同大学院修士課程修了、同時にデザインオフィス nendo を設立。
05年 nendo ミラノオフィス設立。06年、Newsweek 誌「世界が尊敬する日本人100人」に選出される。12年 Wallpaper 誌(英)および ELLE DECO INTERNATIONAL DESIGN AWARD にて Designer of the Year を受賞。作品は MoMA (米)、ポンピドーセンター (仏)、V&A 博物館 (英) など世界の美術館に収蔵されている。www.nendo.jp



<<国内線機内持込規定サイズに関して>>

国内線機内持込規定

	3辺の合計	3辺の内訳	合計重量
100席以上の航空機	115cm以内	55cm以内×40cm以内×25cm以内	10kgまで
100席未満の航空機	100cm以内	45cm以内×35cm以内×20cm以内	10kgまで



<100席以上の航空機の場合>

- ・「持込規定サイズ」には、付属部分(キャスター・ハンドルなど)も含まれますので、スーツケースの外寸サイズを参照ください。
- ・合計重量には、他の身の回り品(ハンドバッグ、ブリーフケース、ショッピングバッグなど)も含まれます。
- ・航空会社によって条件が異なる場合がありますので、詳しくはご利用の航空会社にお問い合わせください。
- ・国際線は基本的に3辺の合計が115cm以内のサイズ制限となっていますが、各航空会社により異なる場合があります。

エース株式会社 会社概要

社名 : エース株式会社 ACE Co.,Ltd.
 創業 : 1940年1月1日
 資本金 : 14億1000万円
 代表者 : 代表取締役社長 森下宏明
 従業員数 : 1405名(2015年12月21日現在・連結)
 事業内容 : 旅行バッグ、スーツケース、ビジネスバッグ、スポーツバッグ、ファッションバッグ、
 旅行小物などの製造卸
 売上高 : 323億円(2015年度・連結)
 URL : <http://www.ace.jp>
 系列会社 : エースラゲージ株式会社、エース物流サービス株式会社、エースサービス株式会社、
 株式会社エーストレーディング、株式会社グローバルプロジェクト、Zero Halliburton Inc.,
 ACE ITALIA S.R.L、SINGAPORE ACE PTE.LTD.,
 ACE HONG KONG LUGGAGE CO.,LTD., ACE MALAYSIA LUGGAGE SDN.BHD.

【東京本社】〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-4-16 神宮前M-SQUARE

【大阪本店】〒541-0059 大阪市中央区博労町4-5-2

<<本件に関するお問合せ>>

エース株式会社 マーケティング部 広報・PR担当 山田絢音

TEL:03-5843-0607 [読者問合せ: エース 03-5843-0606] FAX:03-5843-0608

MAIL:a-yamada@ace.jp